

今月は別の言い方では「神無月」といいます。なぜか知っていますか？そもそも日本の神様は八百万の神と違って、そこら中におられるものでした。お寺では静かに手を合わせて拝みますが、神社ではパンパンと柏手をうつでしよう？これは仏像なら自分の前にいらっしやるから、音をたてて自己PRしなくても祈りは届くけれど、神様はいっぱいおられてしかもどこに行ってらっしやるかわからないので音をたてて自分はここにいますよ、と伝えるためです。

さてそれではなぜ十月を神無月というのか、ということですが。神様が無い月ということなのです。では一体十月神様はどこに行かれるのでしょうか？

答えは出雲です。島根県に縁結びの神様としてよく知られた出雲大社がありますね。全国の神様は十月にそこに集結することになっているのです。そのため出雲では十月のことを神無月とはよばず神在月とよんでいます。

一体神様は何をするために出雲に行くのでしょうか。大国主大神が天照大神に国譲りをしたとき、政事はあなたにまかせ、私がかくれた神事を行いますと言われたそうです。

かくれた神事が神様たちの会議のことで、あの人とこの人を結婚させようとか決めるのもここ、と考えられました。会議の間は静かにしないとイケないので旧暦十月十日から一週間ほど出雲の人は大きわぎはつつしみます。

ところで「ぜんざい」はもともと神在もちという出雲の名物がルーツです。「じんざいもち」がなまって「ぜんざい」といわれるようになったのです。

音読サイン↓

① 何の話でしょうか？

② 全国の神様は神無月、どこに行くのでしょうか？

③ 出雲はなんという海に面しているか調べましょう。

④ 出雲では十月をなんとよびますか？

⑤ なぜ仏様の前では拍手しないのですか？

⑥ なぜ神社では柏手をうつのですか？

⑦ 日本の神話では、大国主大神はだれに国を譲ったとされているのですか？

⑧ 神在もちがルーツな食べ物は何ですか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() 会議の時はうるさくしてもいい。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

